



育成センターだより

鹿児島市山下町6-1 Tel 227-1972

【11月の重点指導事項及び着眼点】

- 1 安心して登校できる環境づくり（いじめ防止等）
安心・安全な居場所づくりと相談活動の充実
- 2 児童虐待防止
学校、地域、関係機関等の連携における啓発活動の推進

児童虐待は「心の虐待」



こども家庭庁によると、令和4年度児童相談所での児童虐待相談対応件数（速報値）は219,170件で、前年度より5.5%（11,510件）の増加、過去最多になっています。

相談内容別件数は、心理的虐待（脅し、脅迫、無視など：59.1%）、身体的虐待（殴る、蹴るなど：23.6%）、ネグレクト（適切な食事を与えない、育児怠慢など：16.2%）、性的虐待（子どもへの性交、性的行為など：1.1%）の順になっています。増加の要因の一つとして、「関係機関の児童虐待防止に対する意識や感度の高まり」が挙げられており、児童虐待に対する人々の認識は高まってきていると言えます。

多くの虐待被害者のカウンセリングを通して得られた知見を基に書かれた「TOXIC PARENTS」（和訳本「毒になる親」）の著者スーザン・フォワード氏（心理学博士）は、30年以上も前（1989年）に出版された同著の中で、虐待を受けた子どもについて、「成長して大人になった時にポジティブで落ち着いた自己像を持つことが非常に困難になる。（中略）この心のメカニズムは成長後も継続し、人生のさまざまな局面に影響を及ぼすようになる」と述べています。また、「すべての虐待は、意識的に止めない限り、

被害者が加害者になる連鎖反応を起こす」とも述べており、児童虐待が子どもの人格形成に大きな影響を与え、さらには、それが次世代へ引き継がれていくおそれがあることを指摘しています。

児童虐待は、その態様がどのようなものであれ、子どもの心が大きく傷つけられ、ゆがめられる「心の虐待」であり、「見えにくいからこそ早く気付こうとする周りの姿勢が大切である」と言えます。

一方、児童虐待が起こってしまう背景には、保護者等の身体的、精神的、社会的、経済的等の要因が複雑に絡み合っていると考えられており、「保護者等が虐待に向かわないよう、関係機関等の密接な連携と組織的な対応による支援も必要である」と考えます。

11月は、こども家庭庁による「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」が実施されます。（令和4年度までは、厚生労働省において「児童虐待防止推進月間」として実施）県や市でも様々な取組が予定されているようです。

児童虐待に対する関心と理解を深め、子どもや保護者からのSOSを見逃さないよう努めていきましょう。

※ 【啓発標語】あなたしか 気づいてないかも そのサイン
※ 「もしかして虐待かもしれない」と思ったら、迷わず
児童相談所虐待対応ダイヤル189（いち・はや・く）へ

青少年の生活環境調査から



青少年の生活環境の実態を把握し、環境浄化活動に役立てるため、毎年7月1日から8月31日の期間で、小学校区ごとに環境点検調査に取り組んでいただいております。

今年の調査結果の一部は右表のとおりです。たばこ等の自動販売機・交通危険箇所・地形的に危険な箇所などは減少傾向にあるものの、依然としてかなりの数が挙げられています。空き家や空き店舗については、学校や地域の努力だけではその数を把握することが困難になっている状況も見られます。

また、無線LAN利用可能箇所の把握も難しくなっており、他者からの個人情報の閲覧やウイルス感染等を防ぐために、「パスワードのない公衆無線LANや見知らぬ無線LANには接続しない」などの情報セキュリティ対策が求められていると言えます。

時代の流れとともに、青少年を取り巻く環境は刻々と変化しており、学校・家庭・地域が情報をいち早く共有し、繰り返し啓発や指導を行うことで、子どもたちの「自分の身は自分で守る」という自己防衛力を高めていく必要があると考えます。



青少年の生活環境点検調査結果（概要）

調査項目	R5	R4	増減
有害図書・アダルトビデオ・大人のオモチャ等自動販売機	12	8	4
酒類自動販売機	66	92	▲26
たばこ自動販売機	185	222	▲37
ゲームセンター	11	12	▲1
スーパー等のゲームコーナー	24	27	▲3
トレーディングカード取扱店	48	42	6
カラオケボックス	26	25	1
インターネットカフェ	7	7	0
漫画喫茶店	3	4	▲1
ラブホテル	20	25	▲5
成人向けコーナーのあるビデオ店	16	16	0
成人向けコーナーのあるコンビニ	223	206	17
Wi-Fi等無線LAN利用可能箇所	310	300	10
有害図書が放置されていた箇所	0	3	▲3
青少年がたむろする場所	102	97	5
交通危険箇所	688	770	▲82
入口を塞いでいない防空壕等	33	31	2
地形的に危険な箇所	392	406	▲14
不審者が出没した場所	175	147	28
子ども110番の家	943	881	62
セーフティステーション	254	251	3
かけこみ110番等	84	82	2

※ 空き家・空き店舗については数が多く、把握できない地区も多かった。